

第5章 都市づくり方針

本地区の将来像を実現していくための4つの方針を設定します。

1. 滝尾駅の交通結節機能の強化

(1) 滝尾駅前広場の整備推進

滝尾駅前広場については、自家用車、バス、タクシー、二輪車、自転車、歩行者が安全で円滑な利用が可能な駅前広場の配置と形態（道路・広場・駐輪場・駐車場等）の検討と整備の推進を図ります。

(2) バリアフリー化の推進

駅周辺の整備にあたっては、高齢者や障がい者を含めて誰もが使いやすいものとするため、歩行者動線の段差解消や乗降しやすいバス停留所など、バリアフリー化を推進します。

(3) 滝尾駅前線の整備促進

本地区の内外から滝尾駅への円滑なアクセスが可能となるよう、都市計画道路 滝尾駅前線の整備を促進します。

(4) 住民参加による駅前空間づくり

本地区の顔となる駅前空間を実現するため、周辺住民の意向を反映するとともに、市民や交通事業者、行政など関係者の連携を図ります。

2. 地区内・地区外への円滑な移動を行うための安全で快適な道路空間の形成

(1) 東西軸となる幹線道路の整備

大分市都心部方面からの円滑な移動を強化し、滝尾駅を拠点とした地区内の東西軸となる、都市計画道路 滝尾駅前線の整備を促進します。

(2) 南北軸となる幹線道路の検討

円滑に地区内・地区外を移動できるようにするため、周辺道路の整備状況を踏まえ、地区内南北軸幹線（バイパス道路）の検討を行います。

(3) 安心安全な道路空間の検討

本地区内の細街路については、幅員の狭い道路・交差点における安心安全な道路空間の形成手法の検討を行います。

3. 整備に伴う計画的な土地利用の推進

(1) まちづくりを誘導する用途地域の検討

新たに整備が必要な駅前広場や幹線道路の周辺における生活利便施設の立地促進に向けた用途地域の変更について検討します。

(2) 良好な住環境づくりに向けた土地利用手法の検討

幹線道路の整備による良好な住環境の実現を実現するため、道路整備に伴い発生する残地や敷地の整序に関する土地利用手法の検討を行います。

4. 防災・減災への対応と地域資源の活用

(1) 防災・減災への対応

急傾斜地崩壊対策事業等の活用など、土砂災害の恐れのある区域への対処を検討するとともに、幹線道路の整備等にあたっては防災面への配慮を行います。

(2) 地域資源の活用

本地区における歴史や自然などの地域資源を活用するための誘導案内看板等の設置を検討します。

都市づくり方針図

